

岸和田市廃棄物減量等推進審議会会議録

会議名	第 51 回 岸和田市廃棄物減量等推進審議会		
日時	平成 26 年 6 月 12 日（木）午後 2 時 00 分～午後 3 時 45 分		
場所	市立産業会館 3 階大会議室		
出席委員	石田委員、片原委員、坂井委員、白木委員、竹川委員、田村委員、道斎委員、 富田委員、永谷委員、平松委員、福井委員、藤原委員、森下委員、藪野委員、 雪本委員、吉田委員、吉野委員、和田委員		以上 18 名
欠席委員	畑田委員		以上 1 名
事務局	山本環境部長、頓花生活環境課長、黒石環境保全課長 高野参事、田代主幹、大工主幹、大北主幹、西村義担当長、 山本、折田		以上 10 名
傍聴者	0 名		
次第	1. 会長及び副会長の選出 2. 会長及び副会長あいさつ 3. 案件等 (1) 諮問事項について (2) 報告事項について (3) その他		
会議録調整・承認	会長承認	7 月 2 日	・ 坂井委員承認 7 月 2 日

(事務局)	<p>それでは、只今から岸和田市廃棄物減量等推進審議会を開会させていただきます。本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本来ですと、ここで、会長による開会と運営をお願いするところですが、本日委嘱が行われたばかりでございます。委員の互選によりまして、仮議長を選出する方法もございますが、如何いたしましょうか。</p>
(委員)	役員選出までの間、事務局で運営していただいておりますでしょうか。
(事務局)	ただ今、「事務局で運営していただいております」との意見をいただきましたが、役員選出までの間、環境部長が進行させていただいてよろしいでしょうか。
(委員)	異議なし
(事務局)	特にご意見は無いようですので、役員の選出までの間、環境部長が進行させていただきます。それでは、役員選出までの間、私の方で進行させていただきます。まず、事務局より、委員の出席状況の報告をお願いします。
(事務局)	それでは、本日の委員出席状況を報告いたします。現在18名の委員さんが出席されております。本審議会委員総数は19名でございます。本市「廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例施行規則」第4条の5第2項の規定により、過半数の出席をもって有効に成立していることを報告いたします。
(事務局)	<p>それでは、次第5の審議会会長及び副会長の選出を、お願いします。</p> <p>本審議会につきましては、岸和田市廃棄物減量等推進審議会規則第4条の規定で、審議会に会長及び副会長を置き、それぞれ委員の互選により定める、となっております。</p> <p>選考委員会を設置しまして、推薦で選出いただく方法もございますが、今回はいかがいたしましょうか。</p>
(委員)	選考委員の選出となりますと時間がかかりますので、この場で選出いただいたらどうでしょうか。
(事務局)	ただ今、この場で、選出いただいたらとのご意見ですが、ご異議ございませんか。
(委員)	異議なし

<p>(事務局)</p>	<p>異議が無いようですので、自薦他薦で互選いただきます。ございませんでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>自薦される方は、いらっしゃらないようですので、私から推薦させていただきます。この審議会の会長は、今までご経験のある町会連合会から推薦いただいた雪本委員に、副会長には、商工会議所推薦の道齋委員にお願いしたいと思えます。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>会長に雪本秀樹委員、副会長に道齋芳雄委員との推薦がありました。他にないでしょうか。</p> <p>無いようですので、お諮りいたします。会長は雪本秀樹委員に、副会長は道齋芳雄委員にお願いいたしたいと存じます。拍手で承認いただきたいと思えます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>(拍手)</p>
<p>(事務局)</p>	<p>役員が決定いたしましたので、雪本会長、道齋副会長は、正面にご着席ください。それでは、雪本会長に、ご挨拶をお願いいたします。</p>
<p>(会長)</p>	<p>みなさんこんにちは。</p> <p>ただいま、皆さん方からご推薦いただいた雪本でございます。廃棄物減量等推進審議会会長に就任する事になりました。どうぞご協力のほどよろしく願ひいたします。</p> <p>本審議会は、平成24年の2月以降久々の審議会でございます。過半数以上の方が前任者からとお見受けします。本日は、市長より普通ごみ指定袋30リットル袋の導入について諮問されるということでございます。そういうことで、普通ごみ指定袋については、本審議会において過去7回審議いたしました。それぞれ委員の審議を重ね、いろいろご意見も出ました。</p> <p>現在、45リットル、20リットル、10リットルの袋は平成22年4月より導入されております。やっと市民のみなさんが慣れてきたかなあというのが現状かと思えます。最初の時は暗中模索でございましたけれど、いろんな袋も出てきましたけれど各家庭の前には又はごみ集積所には、赤い袋が並ぶようになってきました。という現状かと思えます。こういう廃棄物減量についての件におきましては、どんどん前に進んでおまして、袋の種類も岸和田市のほうに市民の方から、ちょっと45リットルでは大きいと30リットルぐらいのというようなご意見が出されております。前回の審議会でも30リットルという案もございましたけれども、まずはいろんな意見を聞いていろんな種類の物を作るという</p>

	<p>訳にもいかないので独身者のためには10リットル、できるだけ減量してもらおうと20リットル、どうもこうもいかないときの45リットル3種類を作成したように思っております。本日、市からの諮問30リットルの袋につきまして、本日なんとかまとめて上程したいなあという考え方をして市民の声も反映しながらそういうふうにもう一袋を作るということで皆さん方にいろいろご意見を聞きたいと思っております。</p> <p>平成24年の2月にはペットボトル全市収集やプラスチック分別啓発を行いました。ペットボトルの関係も審議会で答申を出したというように思っております。そこで、ペットボトルやプラスチックに関しても円滑に事務が進むように皆さん方の忌憚のない意見を頂戴して、参考にできればというように思っておりますのでよろしくご意見のほどおねがいしたいと思います。</p> <p>本日の審議会盛りだくさんな議案がございますがスムーズにできますよう皆さん方にお願ひしまして会長就任の挨拶とさせていただきます。本日、どうぞご協力のほどよろしくお願ひします。</p>
(事務局)	<p>ありがとうございました。続きまして、道齋副会長ご挨拶をお願いします。</p>
(副会長)	<p>こんにちは。ただいま、副会長に推薦して頂きました道齋でございます。これからは、雪本会長補佐して任務を全うしていきたいと思っておりますのでご協力のほどよろしくお願ひいたします。</p> <p>実は私この審議会の委員を受けて初めてわかったんですけど、この6月5日は環境の日。皆さんご存じかと思いますが、1972年にスウェーデンのストックホルムでかけがえのない地球を合言葉に世界で初めて環境問題の大きな会議が開かれた日でございます、その日が6月5日。環境の日になっております。その1年前に日本でも公害問題が大きく取り上げられまして、日本にも環境庁というものができまして、この年、東京都知事がごみ戦争というのを宣言しております。そういうことでこれからもごみを分別して資源に再生することが課題であると思っております。地球にやさしい環境作りを進めることが大切であると思っております。ということで簡単ではございますが就任の挨拶とさせていただきます。</p>
(事務局)	<p>ありがとうございました。本日の審議会は、先にご案内のとおり諮問事項があり、ここで市長より会長へ諮問書をお渡しいたします。</p>
(市長)	<p>(諮問書を朗読)</p>
(事務局)	<p>ありがとうございました。市長は、この後、公務がございますので、ここで退席させていただきます。</p>

	<p>審議に先立ちまして、会議録作成に関して決定しておくことがあります。</p> <p>環境部の所管する「審議会等の会議及び会議録の公開に関する要領」において、会議録については「事務局で素案を作成し、会長が調製のうえ、会長及び会議において会長が指名した委員が承認しなければならない」と規定されていますので、議事録の承認をいただける委員さん1名を、この場で会長から指名していただけますか。</p>
(会 長)	<p>只今、事務局より説明がございました。私と一緒に会議録を承認いただける方を1名、指名させていただきます。坂井委員さん、宜しくお願い致します。</p>
(委 員)	<p>はい、了承します。</p>
(事務局)	<p>それでは、岸和田市廃棄物減量等推進審議会規則第5条の規定によりまして、議長を会長にお願い致します。</p>
(会 長)	<p>それでは、さっそく議事に入ります。諮問事項について、まず、事務局より資料に基づき説明いたします。そのあと委員みなさんにご意見を伺いたいと思います。では、事務局より説明願います。</p>
(事務局)	<p>資料説明《資料1～4説明》</p>
(会 長)	<p>ありがとうございました。資料のグラフを見てますと、だいたい30リットル袋作りますと、20リットルと45リットルの間に入ってくると、10リットル袋はそんなに大きな変化はないかと、というような感じにはしておりますけど。皆さん方、いろいろな意見があると思われませんが、ご意見ありましたら遠慮なくどうぞ。</p>
(委 員)	<p>素朴な質問なんですが、ごみ袋、現在の値段はいくらになりますか。</p>
(事務局)	<p>1リットル1円となっております。種類で、10円20円45円となります。</p>
(会 長)	<p>ですから30リットルであれば30円ということになりますね</p>
(委 員)	<p>たまたま京都市から来ていますので京都市の事例をご紹介したいと思えます。京都市も30リットル袋があります。指定袋制に変更になる時に赤ちゃんがいる世帯とかに京都市が無料で指定袋をくださったんですけど。その時も30リットルの袋をくださいました。この間の京都市の審議会では45リットル袋をなくしてしまおうかという30リットルが一番大きいサイズにしてしまおうかとい</p>

<p>(会 長)</p>	<p>う方針もあって、ごみの減量がすすんでいることもあるので30リットル袋の需要も高まってくるかと思います。</p> <p>はいありがとうございます。冒頭に私お話しさせてもらった通り、30リットルという案は、前回の時も指定袋導入時も、もちろん案はあったんですけど、まずは先ほど言いましたとおり、独身者・ワンルームに入っている人には10リットルくらいがちょうどいいんじゃないかと。なんとか詰め込んで少なくしたい女性のご意見もございまして、20リットルを作り、そしてそれ以上の人は多いめの袋を作って45リットルのほうがいいんじゃないかと、私は簡単に言ってますけどその時には意見はかなりありました。そして行政のほうも、在庫の問題もございまして倉庫の問題もございまして。商店に並べるスペースの問題もございましてのでとりあえずはこの3種類で進もうということで決りまして、スタートしたわけなんです。今日ここに来ますと先ほどお話もありましたように30リットルこれも経験で分かっていると思うんですけどちょうどこの間の30リットルがほしいなあと意見が行政関係にもきていると、ということで諮問が出てきたと思います。だから、大きな倉庫があって資金的に余裕があればなんぼでもいろんな種類をつくれればいいんですけど、そういう訳にはいきませんので、本日皆様方に再度30リットルを作っているんですかどうですかということが、行政から諮問が出てきたと思います。京都市のほうのゴミ袋はどんなものか一度京都のほうに行きましたら見ようと思いますけど、われわれも岸和田の袋はすごくしっかりしていて立派なんですけど、私は逆に薄くせえと言うてるぐらいのもので、女性の方は特にわかると思いますけどマチもありますので、正面からもくくってかなり量が入るようになっていきますので、もうちょっとコスト的にダウンして儲けたらその分、市民に還元したらと言っているんですけど。烏でもつつきにきてあけられたら困るといっているので、そこで皆さん方の意見を再度聞いて先ほど言いましたように、今日で答えを出したいなあと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。30リットルいいんじゃないかというご意見をもらいました。他にございせんか。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>私も指定袋導入のとき、3種類に決めるときに審議会にいましたので、いろいろ時間をかけて、今会長がおっしゃったとおりに思い出したんですけど、実際開けてみて使ってみたら45リットルの重いこと大きいことようけ入ることに驚かしてね。2階から下におろすときは男手でしかおろせないくらい大きいときはね。そのかわり20リットル入れようとしたらかなり減量しないといけなないので減量にはなりましたけど。女性会議なんかでもいろいろな意見も聞きましたが、団地に住んでる人も上からおりてきて収集所まで行くのに重たいと。そういう意見もありまして30リットルぐらいにしてほしいという意見もありまして何回も行政とも懇談会の時にも話してきましたので30リットルについては賛</p>

	<p>成しています。</p> <p>あと、ここでこういうことを言うのはどうかと思うのですが、私の事なのですが、ごみの減量についてですね、生ゴミ堆肥のEMぼかし消費者センターから買ってきて1袋150円くらいでしたか、生ゴミ堆肥をずっとやっているんですけど、今年ぐらいからEMぼかしを作ることができないということで消費者センターで買えなくなりましてコーナンとか行きますと少ない量で400円。かなり、高いのでしょっちゅうするのがやりにくくなっていて最近あるところで作っているというのを聞いてたくさんあるよって聞いて近所に言ったら非常に喜んでくれて、高いからやめてたんやという人にもあげたら非常に喜んでくれて、安いのは、やっぱり非常に使いやすいとかそういう声を聞きましたので、EMぼかしも引き続き続けてくれないかなあとと思います。こういう機会がありましたので言わせていただきました。</p>
(会 長)	<p>ありがとうございました。作っていただきたいということですね。EMの関係は、大芝校区でも貸農園をやっています。50人くらいのグループでやっていますけど、生ゴミを使って減量しようという主旨でありましてやっておりますので、また参考になればと思います。他にご意見ございませんか。</p>
(委 員)	<p>ごみを最近よく見て回るんですけど、45リットルの袋について段ボールを入れてる袋が目につくんです。だから分別をやっているんですけど、もうちょっと分別を完全にしていたほうが45リットルに少し出るのが収まるんじゃないでしょうか。これは質問なんですけど、ごみ処理場一度行ったことがあるんですけど、そういうふうに入っている段ボールとかは処理場では分別はできないですよ。ごみとして捨てるのですか。</p>
(事務局)	<p>指定袋で入っていく袋については、クリーンセンターでは燃えるごみとして入っていきますので。</p>
(委 員)	<p>それが、すごく残念だなあとと思います。それも一緒のごみになるのならもったいないなあ。娘が姫路市にいますけど、あそこは広い場所にコンテナがあり分別して入れ込むようになっているんですね。岸和田とは事情が違うと思いますので、それは無理かもしれないけど、違った目線でそういう廃品回収の場所とかも選べばもうちょっとできるのかなあと思いました。以上です。</p>
(会 長)	<p>はいありがとうございました。段ボールを赤い袋に入れておると、ということですね。岸和田市では町会において違いがありますけど毎月に一回、廃品回収をやっております、ダンボール・新聞・雑誌も回収しておりますので、町会の方でも再度啓発しておきます。ほかにご意見ございませんか。</p>

(委 員)	<p>結論的には30リットル私も賛成なんですけど、私の田尻町ではないのです。田尻町ではお年寄り高齢者単身者が多いので地域差がだいぶあるのかなあと思いました。私思いましたのは、先ほどの委員のお話にもありましたように、30リットル袋は利便性図る上で大事なんですけど、ぜひ45リットルから30リットルにと減量効果が期待できると思うんですけど、やはり後で議論になるかと思うんですけど、ペットボトルや雑紙との分別をセットにして袋を提示するということが大事だと思いますので、まあ、サイズも大事やと思います。その辺の分別の話も、特に今回30リットルを提示するという点に関してはいいんじゃないかと思います。</p>
(会 長)	<p>ありがとうございました。30リットル賛成ということですね。</p>
(委 員)	<p>私も30リットル大賛成です。週に2回ごみを出しているんですけど。45リットルにしっかり詰めて出すんですけど、45リットルにしっかり詰めて出したら男では出せない事はないんですけど、ごみ集積所各町会では違うと思いますけど、私の場合は100メートル弱歩かないといけない。そうした時に手で持つのではなく肩で担がないといけない。30リットルになれば、より簡単に持てることができる。高齢化になってだんだん体力が弱ってくる家庭が多くなってくる。30リットルは大賛成です。</p>
(会 長)	<p>どうもありがとうございました。</p>
(委 員)	<p>私も30リットルには賛成なんですけど、確認なんですけど、仮に30リットル決まるとして、45リットルは将来的にどうするのか、当面つづけるのか。</p>
(事務局)	<p>今のご質問ですけど、10・20・45リットルは今のままでいきます。それに30リットルを加えて4種類ということに思っております。</p>
(委 員)	<p>要するに、今の現状で行くと、一つの種類の30リットルを加えると。需要においては、45リットルを少なめに作ったりとかはするわけですね。</p>
(事務局)	<p>状況を把握しながらということになります。</p>
(会 長)	<p>やはり、45リットルを好む人は中にはいますので、せっかく前回の事で決まっていますので、それはそれで残してやってと思います。ほかに。</p>
(委 員)	<p>確かに、20リットルで小さい時も多々あり、45リットルであれば半分くらい、</p>

	<p>そうかと言って 20 リットルを 2 つ使うと、私は 30 リットルできれば賛成なのでよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
(会 長)	<p>はい、30 リットルでやっってくださいということですか。他にご意見ございませぬか。</p>
(委 員)	<p>すいません少し質問があるのですが、45 リットルがあるので 30 リットルを加えるということは費用的に高くなるものでしょうか。</p>
(会 長)	<p>値段が高くなるということでしょうか。リットル 1 円ですから 30 リットルで 30 円今までと一緒なんですけどね。</p>
(委 員)	<p>全体の容量はかわらないんですかね。</p>
(会 長)	<p>全体の容量とは。</p>
(委 員)	<p>資料のグラフで袋を作った場合、今の現行の袋代と 30 リットル入れたときに袋代とだいが変わるのでしょうか。</p>
(会 長)	<p>そのへんは、グラフでもあるとおりに、45 リットルと 20 リットルが影響してくるんですけどここで 30 リットルが消費拡大してくるんですけど、値段的なバランスはどういうふうになってくるんですか。</p>
(事務局)	<p>ごみ袋の手数料・売上ということですか。</p>
(委 員)	<p>製造コストは。</p>
(事務局)	<p>製造コストは、私どもの試算ではほとんど変わりございませぬ。</p>
(委 員)	<p>変わりがないなら、どちらでもいいかなあと思うんですけど。私はやっぱり 45 リットル廃止して 30 リットルでいいんじゃないかと思ひます。減量化で資料で見ますと、岸和田市の家庭ごみはなかなか減量化されてないように思ひますので、これをどう進めるかということにもう少し力を入れるということになりますので 45 リットルを 30 リットルに変えてはどうかなあと思ひます。私個人の事情を言ひますと、2 人で 1 週間で 1 回 10 リットルの袋でいけますので、だからなんか 30 リットルはいらぬと言ひばいらぬんですけど、45 リットルの袋のゴミ出しを見ひますと、非常に重たそうで気の毒で手助けしてあげたらいいと思ひてやっひているんですけど。そういうこともあつて 30 リットルでいい</p>

	<p>んじゃないかと。それと事務局のほうでなぜ泉南市が変化予測の資料の市として取り上げたのか。人の構成だけでいかれてるようですが、市民の生活慣習とか、職業の構成とか、そういうものが関係するんじゃないかと思います。もう少し事例がほしいなあと思いました。</p>
(会 長)	<p>袋のサイズは個人的な意見として、事例として泉南市をなぜ取り入れたのか事務局のほうからお願いします。</p>
(事務局)	<p>大阪府内で最初2種類でやりまして、10・30 リットルを追加したのは泉南市しかなかったので事例としてあげました。</p>
(会 長)	<p>おわかりいただけましたでしょうか。たまたま泉南市でということで事務局から説明がありましたけど。</p>
(委 員)	<p>今現行で、やっている豊中とか箕面とか数字的にひらいにいくとかそういうことはしていないですか。</p>
(事務局)	<p>データとしてはもらいましたが、直接ヒアリングはしておりません。泉南市が途中から導入したので教えてもらいに行きました。</p>
(委 員)	<p>担当者としては、30 リットルの袋は非常に重宝だなあと思われませんか。</p>
(会 長)	<p>行政のほうが感覚的にじゃなしに、市民から声があったということで諮問にでてきているので、まあそのへん誤解のないようにしていただきたいなあと思っております。他にご意見ございませんか。</p>
(委 員)	<p>泉南市のほうで導入した時に反響はどうやったか。</p>
(事務局)	<p>泉南市で確認したところ、やはり30 リットル入れることにより、45 リットルから30 リットルに減らしてということがあったというふうに聞いております。泉南市は地形的にも山から海までありますので、池田市とか豊中市とは条件が違いますので、どちらかというとな泉州の自治体で調べるほうがいいと思い調べました。</p>
(会 長)	<p>他にご意見ございませんか。</p>
(会 長)	<p>ご意見なければ採決したいと思いますけど。</p>

(事務局)	はい。
(会 長)	それでは、30 リットルの袋現状の 10・20・45 リットルの量は別にして現状で行くと、30 リットルは新しく導入するということでご異議ございませんか。
(委 員)	異議なし。
(会 長)	30 リットルを行政の中で考えていただくと、これもするとしたらいつになるのですか。市長のほうへ答申書出して・・・。
(事務局)	答申書いただいたのちに、議会にとということになります。
(会 長)	行政のほうへ答申書を出したいと思いますので、それまで順序ありますのでお願いしたいと思います。最後みなさんにご承認いただきましたので30 リットル袋を導入すると決めていただきました。それでは、答申書の内容とその取り扱いでございますが、本来答申書の内容がこれでいいかどうかみなさんに最終的に目を通してもらわないといけないのですが、導入に向けては、今後今も事務局からお話があったように市議会における条例の一部改正手続きなど、時間的な問題もございますので、答申の内容と取り扱いを、私にご一任いただきたく、ご了承いただきたいのですが。
(委 員)	異議なし。
(会 長)	ありがとうございます。私のほうで行政と打ち合わせをしながら、答申書を出す。これまた、こういう答申書出すということは、委員のみなさんに送付するのですか。
(事務局)	連絡いたします。
(会 長)	また連絡させていただきますので、ここで話ししていただいた事、全く変更しているということはありませんのでそのへんご了解いただきたいなあと、思います。それでは、本日いただいた皆さんの意見を事務局のほうで作成させていただきますまして市長に30 リットル答申をしてまいりたいと思います。それでは、諮問事項についてはこれで終了したいと思います。

<p>(会 長)</p>	<p>それでは、報告事項に入ります。 事務局より報告①「三種混合方式によるペットボトルの全市収集について」を説明します。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>それでは、三種混合方式によるペットボトルの全市収集について説明させていただきます。 資料5～資料7説明 (三種混合方式によるペットボトルの全市収集について)</p>
<p>(会 長)</p>	<p>ただ今、事務局より「三種混合方式によるペットボトルの全市収集について」説明がありました。 ご質問、ご意見ございません。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>資料6の数字なんですけど、天神山のところで隔週で出したら 650 kg、混合で出したら 700 kgということは、隔週ということはカン・ビン、ペットボトルを別々に出しているということですか。隔週のときのこの 650 kgの数字はペットボトルだけの数字ですか。読み方がわかりません。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>ペットボトルとカン・ビンを一緒にしたこの期間の重さです。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>じゃ、この隔週のところは、別々に集めたのを一緒に計ったということですね。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>一緒に計量したということです。</p>
<p>(会 長)</p>	<p>ほかにご意見ございませんか。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>同じ質問なんですけど、三種混合にした場合に量が増えてますけど、どういう見解をもっていますか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>やはり、出すのが便利になったことと、あと高齢者の方が迷わず出せることかなと思っていますけど、次のところで説明させてもらおうと思っているんですけども、ペットボトルとプラスチックごみと一緒に出るという状況があるんです。それが多分、ビン・カン、ペットの中に入ってくるので減ってくるのかな、というのが一番のことかなと思っています。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>一緒にしたら、特にアルミ缶を別に回収されてる方がおられますけれども、混ぜて出すことによって（アルミ缶の）回収量が減って、量が増えたんかなと</p>

	思っているんですけど。
(事務局)	そうじゃなくて、次の話の中で、プラスチックごみの中の容器包装プラスチック以外にペットボトルが結構多いんです。それが多分そちらに入ってくることによって、出す人が出し易くなるのでと考えております。
(委員)	だから増えているんですね。
(事務局)	そうですね。出すのが楽になりますので増えることになります。
(会長)	これ今、校区と三町関係でやっていますけど、試験的にやっていると思うんですけど、またこれからどんどん増やしていくことも考えておられるんですか。
(事務局)	もう1町会、できましたらこの10月から直営地域で試行をさせて頂きたいなと考えております。
(会長)	ほかに。
(委員)	三種混合の効果としまして、田尻町は隔2週でビンとペットを一緒に混合してるんですけども、クリーンセンター側でビンを収集して、先ほどリサイクル商品化できるという再生事業者に渡す際に、割れないで渡せるという、歩止まりが、割れないビンの効果があるというふうに聞いてますが、そのあたりクリーンセンターの方ではいかがでしょうか。
(事務局)	先生おっしゃるとおりですね。今までのカン・ビンだとですね、ビンが割れやすいんですけども、ペットボトルが入ることによりましてですね、ビンの割れがかなり減ってきております。明らかに実証されておりますので、ビンの割れがかなり少なくなっております。
(委員)	ラインの作業もしやすいということですね。
(事務局)	はい、そうですね。
(会長)	これは全部クリーンセンターに持って行ってるんですね。
(事務局)	はい、そうです。
(会長)	業者の方じゃないですね。

(事務局)	クリーンセンターに入っております。
(会 長)	ほかにご意見ございませんか。
(委 員)	<p>こういう方法にするということは、どういう風に市民に知らせていきますか。今、プラスチックのごみを見てると、容器包装プラスチックだけここに入れるというのがまだわからない人もあって、汚いのが入ったりとかペットボトルも入ってて蓋もラベルもそのまま入ってて。もう、雑な入れ方をたくさん見るので、私はあれが分別になったらみんなどうするんやろな思うんですよ。啓発の方法について。</p>
(事務局)	<p>資料9のところを見て頂きたいんですけども、今、プラスチック類という形で最初の頁に書いてあるところに、プラスチック類という書き方を変えたり、はっきり言いまして、プラスチック類と次の段階で説明させて頂こうと思ったんですけども、資源ごみはあくまでもプラマークのついたものということについて啓発していくような形を考えております。それについて（減量）推進員さんの研修会で啓発をして、来年度4月から実施に向けて、全家庭へのポスティングとかそういう風な手法で啓発していくように考えております。</p>
(会 長)	4月から全市始まっていくというお話がありましたけど、早くPRしていかなければいかんのではないか。
(事務局)	<p>先ほど委員さんの説明がありましたように、どうやって知らせていくんかということがございますので、まずわかりやすいチラシをですね、作成させて頂きまして全家庭にポスティングを、この秋ぐらいと、年明けてからですね、それから広報またこの夏の推進員さんの研修会もありますので、その辺等々で全力でPRさせて頂こうかなと思っております。</p>
(会 長)	<p>徹底してPRしてもらわんとちょっとまずいかなと思っておりますけど。私的なことですけど、我々の所では、廃プラは廃プラで別に回収しに来て頂いて、それが今度汚い廃プラ関係は一般ごみの方に入れてという風に分別してるんですけども、一辺になるということですね。今の説明やったら。廃プラのところにカンも入れると。</p>
(事務局)	<p>今、カン・ビン週1回行ってございますよね。それと別に廃プラスチックも週に1回行ってございます。これとは全く別にお考え頂いて、ペットボトルはカン・ビンの日にちゃんとラベルをとって出して頂くということになりますの</p>

	で、廃プラは・・・。
(会 長)	それをもっと説明せんとね。私でもちよっと今ややこしくなって来て。
(事務局)	そうですね。廃プラ2回来るのかなというようなイメージがあるかと思うんです。わからない方は、廃プラスチックにもペットボトルを出されてる住民さんもおられるかと思うんで、その辺PRしていかなと考えております。
(会 長)	今日の委員さんにもわかるように、PRできるように、わかりやすいような説明と、町会連合会、市民に一気に連絡事項いきますのでね、本当にわかりやすい説明をですね、やってもらわないと。今、試験的にやっているということは聞いておまして、これはこれでその校区はすぐ対応するんでしょうが、初めてやる所は4月からやるとなったら、それなりのPRが必要だと思っております。
(委 員)	そうすると、今までスーパーでもやっているペットボトルの拠点回収はどうなりますか。
(事務局)	当面しばらくの間はそのままで、お店の方も引き続いて出して頂くように考えております。というのは、お買い物に行かれた方がいつでもスーパーに行ったときに出せるという便利さがございますので、これはまだしばらくの間残しておいていきたいと思えます。
(会 長)	4月と言いましたけど、4月までに各校区、単町にですね、わかるようにすればいいんですけど、別に5月、6月でもいいんじゃないかと。PR大事ですんでね。その辺をよろしくお図り願いたいと思えます。
(事務局)	はい、わかりました。
(委 員)	今言われているペットボトルをカン・ビンの日に収集やっていきたいと。それ以外のプラスチックです。トレイとかいろんなプラスチック容器ありますね。それはそれでまた収集をやっていくということですね。ペットボトルをカン・ビンの時に一緒に入れて収集やっていくということですね。
(事務局)	そうでございます。
(事務局)	ちょっと簡単に説明させてもらっていいですか。 資料9をごらんください。資料9の最初の頁を見て頂きたいんです。普通ご

	<p>み・プラスチック類、空きビン・空きカンという形になっているところがあるんですけども、このプラスチック類のところに容器包装プラスチックのごみという表現、これについては最終的に相談して作るんですが、書かして頂いて空きビン・空きカンのところにペットボトルというような形で考えて頂いたらよくわかるかなと思います。また、祝日の収集も、空きビン・空きカン・ペットボトルのところが出てくるという風を集めさせて頂くと考えて頂いたらよくわかるかなと思うんで、毎週1回行くようになりますよということになります。</p>
(委 員)	<p>祝日の収集は「ありません」が「あります」ということになるんですね。</p>
(事務局)	<p>空きビン・空きカン・ペットボトルという風になるようにイメージをして頂いたら。</p>
(委 員)	<p>プラスチック類も収集。</p>
(事務局)	<p>プラスチック類じゃなくて、容り法というような表現になります。プラマークのあるものという形になります。</p>
(会 長)	<p>みなさん、ほかにございませんか。わかっているようで黙っているようなことでもあります。</p>
(委 員)	<p>ペットボトルをビン・カンと一緒に集める時に、ペットボトルのラベルとキャップは容器包装プラスチックの袋に入れられるということ、一緒に啓発すると、ちゃんとラベルとキャップを外すということ、頭をしまわれることもいいんじゃないかと思ひます。</p>
(会 長)	<p>はい、ありがとうございました。</p>
(委 員)	<p>ペットボトルも一緒に集めてくれるのは本当に嬉しいです。町で見てたら年寄りの方は今までも知らないで入れてたりしますんで、その時キャップやらラベルはとっておきませんで、やっぱり町会でもうちょっと教えてあげたらいいなと思ひます。そしてね、普通のごみやったら午前中と割に集めにくるんですけど、空きビン・空きカンの時はね、おじちゃんとか集めに来るから割と遅くまで置けるんですわ。朝早くから皆出しているのに2時、3時と、同じように出しているのになど不思議に思ってたんですよ。だから、今回この話しっかりと進めていって頂きたいと思ひます。</p>
(会 長)	<p>ほかにご意見ございませんか。</p>

<p>(委員)</p>	<p>今、赤い袋週2回ですね。ビンが1回。週4回、それが結局週3回になるということですね。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>じゃないです。ビンの日にペットを入れるということです。</p>
<p>(委員)</p>	<p>プラスチックが週1回あるじゃないですか。それはそのまま。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>そのままです。</p>
<p>(会長)</p>	<p>本日の審議会で諮問したことよりも、これの方が(盛り上がっています)。(笑)</p> <p>もう一度、審議会のメンバーにはっきりわかるように統一してやな、先ほど言ったように、町会連合会に出すのは出しますけども、それも1回や2回くらいのPRじゃしんどいかなと思いますのでね。その辺我々自身もわかりやすいように、説明できるような会議も一回作ってもらわなやな、あかんとちがうかなと思うんですけど。</p>
<p>(委員)</p>	<p>スーパーに持っていかな市は回収してくれなかったんですよ。ペットボトル。</p>
<p>(会長)</p>	<p>だけど、廃プラばかりに入れとけば回収してくれるんですよ。</p>
<p>(委員)</p>	<p>本当はそれダメなんですよ。</p>
<p>(会長)</p>	<p>入ってる人が多いなあ。だからPR。 ちょっと職務怠慢ちがうか。(笑)</p>
<p>(事務局)</p>	<p>会長さんおっしゃるとおり、市民の素朴な意見やと思うんですよ。廃プラスチックのところにペットボトル入っても何や不思議やないという住民さん結構多いです。</p> <p>で。まだまだ自分たちのごみ置き場、廃プラスチックの日に見ますと廃プラスチックにペットボトルが結構入ってるんですね。ああ、と思いながら、これはご存知のように、廃プラスチックは貝塚の関西リサイクルという所に行くんですね。今度皆さんがたにお願いしようと思っているペットボトルはクリーンセンターへ入りますんでね。ここの違いがあるんですけど、ペットボトルはペットなんですというのをもっとPRせんといかんかと肝に銘じておりますので、ポスティングする際の資料もチラシもわかりやすいようなものを作ってさせて頂きたいと思っております。</p>

<p>(会 長)</p>	<p>市民もね、分別ということ、最初は試行錯誤しましたけれど、それが大変なわけですね。その中においても、細かい作業をもっとPR、啓発活動をしてもらわないかん違うのかなと思うところがありますけど。ほかにご意見ございませんか。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>重なる部分もあるんですけどね。トレイとかあるじゃないですか。一緒くたにしてね、しっかりしている人は全部分けて、ラベルもとってしてるんですけど、役所も収集に来た時に何もかも混ぜこみでも持って行ってくれるじゃないですか。きっちりしても当たり前になってきてるんですよ。汚いものでも。それも徹底していかないと、してる人はしてる、してない人は生ごみに入れなけれいけない。一緒に入れられている形も見受けられると思うんですよ。この機会に徹底してほしい。</p>
<p>(会 長)</p>	<p>いい方向に進んでいるのであれば言うことないんですけど、今、悪い方向に一部動いておるということですね。きれいなペットボトルは専門業者の処へ持って行って、汚れているやつは生ごみと一緒に入れてというのが決まったんですけど、それが悪いことにいいのもそこに一緒に入ってるというご意見もございました。市民にもっとわかりやすいPRをせんといかんちゅうことやな。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>はい、わかりました。</p>
<p>(会 長)</p>	<p>参考に聞きますけど、クリーンセンターの釜三つあるけども、今 1.5 くらいしか動いてないんか。動くには動かしているでしょうけど、メンテナンスのこともあるから、適当に動かしてるでしょうけど、本当の量としては 1.5 か 1 コマくらいでいけるわけか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>今 2 つ稼働してるように聞いてますけど。</p>
<p>(会 長)</p>	<p>それは 1.5 くらいの量やろ。作る時は 3 つくらいないといかんという発想で作ったわけでありましてけれど、ごみが少なくなってきたという点もありますし、ドイツでも発電とかいろいろ言ってますけど、電気も稼働してるのが夏場くらいですか。冬場は電気代余計つくんで夏場にプールしといて、それやったらあまり電気食わんで、プールしておいてごみを燃やすということも聞いておるんですけど。何分、市は赤字でございまして、頑張っって儲かるように、市民も納得してそういう風に街づくりしていきますようお願いしたいと思います。</p> <p>ほかにご意見ございませんか。</p>

<p>(委員)</p>	<p>啓発の時に、なぜラベルを外してキャップを取らないといけないのかということも、そのあとのリサイクルの時に非常に有利な扱いを受けられるのかというそういうところまで、意義を説明して啓発すると納得できるかなと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>今のご意見よろしくをお願いします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>わかりました。確かに先生おっしゃるとおり、収集の時にもですね、ご存知のように蓋がないとすぐ圧縮できるんですけど、ついた状態だとかなりパンパンになった状態でいきますのでね。確かに最小限度、キャップとラベルは外して頂くというのもね、相当品質がいいということでいい値段で買い取って頂けるということになりますのでね。その辺のところ、またPRも頑張っていきたいと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>三種混合から廃プラの関係から、また式次第9の話も一気に来ましてね。どういう風にまとめるのか、そろそろ締めた方がいいんじゃないかと私は思っておるんですが、事務局の方でちょっと言い足りなかったなと思うところがございましたらお願いします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>資料8のところだけ説明させていただきます。 (資料8「プラスチック類の排出量と割合」説明)</p>
<p>(会長)</p>	<p>只今、ご説明ありましたけど、それとは別に資料9の「ごみの出し方・分け方」というようなのが一応(案)として出てますけど、委員さんの方から「こうした方がいいんじゃないか」というようなことがございましたら、お願いします。</p> <p>なければ、先ほど言いましたように、廃プラのことから次第の9まで、大体終わってきたように思うんですけど、意見がなければこれで終わりたいと思うんですけどね。何か、ご意見ございましたら。</p>
<p>(委員)</p>	<p>ごみの出し方で、プラスチック類のごみの出し方が変わってくるわけですよ。今までやったらいろんなものを入れてたけど、容り法だけになるということで、ここが変わったよということがハッキリわかるように書いて頂いた方がいいかなあとと思います。前の絵と比べていたら、これが減ってるからこれがあかんのやとわかってるから、こちらにないのを見てこっちが減ってるな思うんですけども、やはりここが変わりましたということが、ハッキリわかるように書いて頂きたいと思います。</p>

<p>(会 長)</p>	<p>「家庭ごみの出し方・分け方」というのはよく行政の方は回覧関係で回しますね。作成したりして。ああいうのじゃなしに、ちょっとお金要るかもしれませんが、各家庭にこれがいけるようにしてもらった方が。回覧というのは案外見てるようで見てない市民も多いので、各家庭に強制的に配布するという考え方もちょっとしてほしいなと思うところもあるんですけどね。</p> <p>ほかにご意見。はいどうぞ。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>資料 10 をつけて頂いてますので、資料 10 の一般ごみの直接搬入量が 21 年度以降年々増えてますよね。これはどのようにご覧になってらっしゃいますか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>有料化して以降増えてきてはいますが、これキチッとしたデータがないんですけど、多分粗大ごみとか直接搬入されてるのかと思っております。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>有料化の直後に増えるのはわかるんですけど、年々増えてますでしょ。それはなぜかなど。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>クリーンセンターで調査してみます。それであらためてご回答させて頂きたいと思っております。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>どっかにごみの減量のしわ寄せがきてるようなことはないですか。</p>
<p>(会 長)</p>	<p>直接搬入の話してるんですか。クリーンセンターで一回調査してもらったらいいんだけど、建築資材のごみも、先生、持って行ってるのがあるんですよ。業者は 1 日 1 回しか持っていけないという規定があるんですわ。2 回、3 回持って行けないんですよ。1 日 1 回、畳やったら最高 12 枚までそれも半分にカットされるとかというような規定がある。そういうようなごみも今業者として行ってるところもあるかと思えますわ。これは参考ですよ。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>事業系の直接搬入ではなくて、家庭系として出すわけですね。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>まあ、その辺も含めてちょっと調査してみます。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>直接搬入のごみの件なんですけどもね、市役所に頼んで来てもらったら 500 円要る。どんなものでも 500 円で、自分から直接持って行ったら 1000 円かそこらくらいやったらもっと持って行けるんですよ。そういうのをみんな知ってはるねんね。最近、あんたとこのごみはと聞いたら「持って行ってるねん」と言って、だからそういうのが口コミで持って行ったら安いよというのが、持って行こうと思う時に持って行けるし、ということで、そういうのをみんな結構</p>

	<p>知ってきてると思います。</p>
(委員)	<p>300 トンくらい増えてきてますのでね。</p>
(会長)	<p>事務局の方でチェックしてもらいます。</p>
(委員)	<p>一市民として言わせてもらいますね。さっき、委員さんおっしゃたように、クリーンセンターに直接持って行く方が便利なんです。はっきり言って。お金はかかりますけどね。例えば、赤い袋に入り切れないごみとか粗大で頼むのがめんどろだとか申し訳ないなという意識が働く場合があつて、それやったら車があつたり、知り合いの人にちょっと小さい車借りれるんやったら、そこに入れて運ぶということが、私を含めてかなり増えてきているのは事実だと思います。これは経験的な話で、実際データがあるわけじゃないんだけども、ご参考までに。言い方を変えれば、それだけクリーンセンターは便利で、先ほどお話がありましたけれども、それを使って市として収入に貢献するのではないかと私は考えております。</p>
(事務局)	<p>粗大ごみだと電話で申し込んで頂きます。おおむね1週間程度待つて頂きます。基本的に一点500円のシールを近くのコンビニあるいはスーパーで買って来て頂くんです。そうすると、ご自分の家の前までという利便性はあるんですけど、一点につきおおむね500円かかりますよということでございまして、結構大量に出る場合は、クリーンセンターの場合だとですね、70kgまでが700円なんです。従量でいきますので、70kgですと男性の体格のいい方の目方いきますので。少々嵩は大きくても従量そんなにないよという場合、車で行った場合安くつくんですね。あと10kg増す毎に110円ときいておりますので、そこそこの量あつた時には、直接行って頂いた方が安いかなということで、委員おっしゃったように車で行かれる方も増えてきているのも事実かと思われます。</p>
(会長)	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>先生、先ほど説明した点は、直接搬入ですか。事業系ごみで許可業者搬入というのは、大体我々の建設業者とかそんなのは1日1回行くというごみかと思ひますね。もう一点の方は、先生、冒頭に言ったやつは、家庭の人が直接持つて行くとかいうごみかと思ひますよ。</p>
(委員)	<p>それがその増えていってるといふのは、一方ですね、せつかく何とか45リットルの袋を減量化の面からいふと経費見直そうとしている、その一方で、それよりも大きな家庭系からの排出量は、直接搬入量という形で、どんどん増えていってるといふのは、いかがなんでしょう。</p>

	<p>難しいですね。利便性という点での活用という面とバランスをとるのが。</p>
(委員)	<p>本当やったら赤い袋に入れるべきなんですけども、それを入れるためには切ったりとかね、それをせなあかんのですよ。それやったらちょっとお金払っても車で持っていくと。月1回でも持って行くと、それの方が体の動く者にとってはより安くつく、ただお年寄りとかそういう方にとっては持ち込めない。</p>
(会長)	<p>はい、ありがとうございました。</p>
(委員)	<p>ちょっと、教えてほしいんですが、ペットボトルの蓋、それ袋に入れて一杯溜まっている。あれはどこに持って行けばよいのか。外国で困っている子どもさんの注射の基金になるというて聞いているが。</p>
(事務局)	<p>一時、ワクチンにね、利用するとか聞いたことがあるんですけど、最近ちょっと。まだやっていますか。ああそうですか。ちょっと勉強不足なんですけど。キャップだけを集めておられる。</p>
(委員)	<p>どっさり溜まっていて、ごみにほかさないかんのか。 女性センターで何かやってるの。</p>
(委員)	<p>私たち女性会議のサロン・ド・ごみ部会では、女性会議の人たちとか女性センターに来る人たちにお願ひして、これを集めてて、それを貝塚の業者さんに持って行くんです。1kg1円ですか、買い取ってくれて、それを「世界の子どもに生ワクチンを」というNPO法人が東京にあって、そこに送ってそこから世界に分けてくれるというシステムになってて。女性センターに持って来てくれたものを、私たちはそこに持って行き、お金を全部送るんです。ユニセフを通して。で、だんだんPRで、増えてきてますけど、去年で1,900円ですか。今年ももうそれくらい集まってるんです。4月から始まってだんだん増えてるんですけど、もし直接行けないときは、そんな風にして言ってくれたら集めに行きます。持って行く時には、蓋を異物だけ除けて、結構持って来てくれた中に乾電池が入ってるとかビールの蓋が入ってるとか、ごみが入ってる時があるので、ごみだけはダメらしいんですけど、ここの上に貼ってるのがありますでしょ。キャンペーンとか、あれは貼っててもいいそうです。それとかお醤油の蓋とか飲料水とか調味料の蓋も全部いけます。洗剤の蓋ありますね、ハイターとかああいう臭いのきついのはダメだそうなんですけど、普通の蓋は持って行ったら買い取ってくれるんですけど、45リットル袋にいっぱい入れても100円くらいやからね。自分で持って行ったらきっとバカらしくなると思うので、女性センターに持って行かれるか、私に連絡してもらったら取りに行くと、女性会</p>

	議の方からその東京のセンターにお金を送って、そこから世界の子どもにワクチンをとることになります。
(委員)	ごみの出し方の中に書いたら。
(委員)	前はね、市民病院の看護婦さんたちがやってはったんですけど、2年くらい前にそれやめはってね。私、単独でやるようになったんです。
(委員)	家内に言うときますわ。
(会長)	だけど集めてるということは、何かそういう情報入ってわかって集めてるわけであって、それをどういう風にしてるのか、そのあとのことがわからないということがあって、女性会議で。もうちょっと皆さんに伝わるようにPRしてもらわんとやな。今、聞いてわかりましたけど、ほかの人はまだわからん人もおると思いますので。
(委員)	女性センターに持って行ってくれてもいいです。
(会長)	ずっと会議の進行をやってまいったんですが、最後に皆さん、久しぶりに集まった機会ですので、いろいろな意見ございましたら。 その他のところまで進んで来ているような気がしますので、キャップの件まで話してくれていましたんで、本当に最後の最後になってきたなという考え方をしておるんですけど。 ほかに何か、こんなところも聞きたいなというご意見ございましたら、この機会にお話し願ったらと思うんですけど。 なければ審議会終わりたいと思うんですけど、ございませんか。 はい、それでは本日の審議会はこれで終わりたいと思います。
(事務局)	本日は大変お忙しいなか、ご出席頂きましてありがとうございました。